



助川中学校 P T A 講演会「南極観測隊体験談」

10月15日(木)、日立理科クラブと南極越冬隊員(3名)が合同で、「南極観測隊体験談」というテーマで、全校生徒と保護者を対象に南極にまつわるお話が繰り広げられました。

最初に、第49次南極観測隊員・軍司将男さんから、「ぼくの南極456日」という題名の体験談が始まりました。軍司さんは、24年前の助中卒業生で、現在は日立製作所インフラシステム社に勤務しています。南極の映像や写真を中心に、南極の特色・極寒での体験など、軍司さんの中学時代の夢や希望も交えて、楽しい話が体育館に響きました。

また、帰国後に必ず聞かれる質問ベスト5として、いくつかのエピソードを紹介していました。

- 南極越冬隊員に女性はいますか。 答え います。(医療隊員と気象隊員の2名)
- 休みは何をしてましたか。 答え 屋外…スキー、ハイキング、登山、アイスクライミング
屋内…映画鑑賞、読書、テレビゲーム、将棋など
- アザラシは食べましたか。 答え 食べません。今は、南極条約で、ペンギンには5m以上、アザラシには10m以上近づけません。
- 何が1番良かったですか。 答え オーロラ そのすばらしさに、寒さを忘れて見ていました。

最後に、生徒達に向かって次のようなメッセージを送りました。

私は、中学卒業時の進学で学校を決めるときに、次のような目標を立てました。

- 1 世界をまたにかけて活躍できるエンジニアになる。
- 2 高校を卒業して上の学校に行き、必要があれば大学に行く。

つきなみですが、夢や目標を持って、日々の生活を過ごしてください。

軍司さんは、中学時の目標をクリアし、活躍しています。頼もしい先輩のメッセージは、きっと生徒達の胸の中に、ずしりと刻まれたのではないのでしょうか。

次に、南極越冬隊員として2回参加している滝川清さんからは、クイズ形式の問題を通して、南極の不思議さを生徒達にアピールしていました。いくつかの質問を紹介します。

- 南極の氷はおいしい?
- 南極船は、南極の氷をどのように割って進む?
- 南極や北極に、なぜオーロラは発生するの?
- 南極の冬は、一日中太陽は出ない?
- 南極の海に落ちた隊員は、海は温かいと言いました。なぜ?

生徒達は、写真などを交えた解答に、なるほどとうなずきながら聞き入っていました。滝川さんから、越冬隊員に参加する条件として

- 1 科学者やエンジニア(技術者)になり、専門的な知識と経験、情熱が必要。
- 2 何事もやり遂げる精神力、一人でも必死に考える思考力と行動力が必要。
- 3 仲間と相談し合い助け合い、自分の立場や相手の立場を考え、行動する協調性が必要。
- 4 南極の厳しい環境で、活躍できるしっかりとした体力が必要。

を上げていました。何かを成し遂げるための必要条件は、自分へのチャレンジになるのではないのでしょうか。先輩南極越冬隊員の後に続く、南極越冬隊員に期待したいですね。

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104



南極越冬隊員(3名)

(滝川清さん、馬場廣明さん、軍司将男さん)

第28次越冬隊員・滝川清さんの展示資料



アデリーペンギンの卵の殻はどれかな

冰山とオーロラ

